

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2024.10.7-13

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

5:1 「祭司たちよ、これを聞け。イスラエルの家よ、心せよ。王の家よ、耳を傾けよ。あなたがたにさばきが下る。あなたがたはミツパで罾となり、タボルの上に張られた網となったからだ。
5:2 曲がった者たちは殺戮を極めた。しかし、わたしは彼らすべてを懲らしめる。
5:3 わたしはエフライムをよく知っている。イスラエルはわたしに隠されていない。今や、エフライムよ、あなたは姦淫をし、イスラエルは汚れてしまった。
5:4 彼らは、自分の悪行を捨てて自分の神に帰ろうとしない。姦淫の霊が彼らのうちにあり、彼らが【主】を知らないからだ。
5:5 イスラエルの高慢はその顔に表れている。イスラエルとエフライムは、自分の不義につまずき、ユダも彼らとともにつまずく。
5:6 彼らは羊の群れ、牛の群れを連れて行き、【主】を尋ね求めるが、見つけることはない。主が彼らから離れ去ったのだ。
5:7 彼らは【主】を裏切り、他国人の子を生んだ。今や、新月の祭りが彼らとその地所を食い尽くす。
5:8 ギブアで角笛を、ラマでラッパを吹き鳴らせ。ベテ・アベンでときの声をあげよ。ベニヤミンよ、うしろを警戒せよ。
5:9 エフライムは懲らしめの日に、恐怖のもととなる。わたしはイスラエルの諸部族に、確かに起こることを知らせる。
5:10 ユダの首長たちは、地境を移す者ようになった。わたしは彼らの上に激しい怒りを水のように注ぐ。
5:11 エフライムは虐げられ、さばかれて打ち

砕かれる。彼が自ら進んで人の決め事に従って歩んだからだ。
5:12 わたしはエフライムにはシミのようになり、ユダの家には腐れようになる。
5:13 エフライムは自分の病を見た。ユダは自分の腫れものを。エフライムはアッシリアに行き、大王に人を遣わした。しかし、彼はあなたがたを癒やすことができず、あなたがたの腫れものも治せない。
5:14 わたしが、エフライムには獅子のようになり、ユダの家には若い獅子のようになるからだ。わたし、このわたしが引き裂いて歩き、さらって行くが、助け出す者はだれもない。
5:15 わたしは自分のところに戻っていよう。彼らが罰を受け、わたしの顔を慕い求めるまで。彼らは苦しみながら、わたしを捜し求める。」

民が罪を犯すようすが細かく書かれています。祭司のような霊的指導者が、「罾と」なってしまうことがあります。クリスチャンは万民祭司として、誰もが主と交わることができ、また民に主を伝える役割を持っています。わなとならないで、むしろ祝福となりましょう。

「自分の不義につまずき」とあります。自分の不義は主に悔い改めればよいのですが、それをしていないのは「高慢」のせいです。謙遜になりましょう。

ギブアやベテ・アベンは堅固な町のはずでしたが、そこまでもが戦いの地になってしまいます。自分は安心だと、たかをくくって罪を犯さないようにしましょう。

「わたしは…しみのように…若い獅子のように」とあります。主に従わない者に対しては、主は敵のように感じるものです。主にに対して従順

となって、主を愛する存在として感じられるようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 8日 火曜

ホセア



るときに。」

6:1 さあ、【主】に立ち返ろう。主は私たちを引き裂いたが、また、癒やし、私たちを打ったが、包んでくださるからだ。

6:2 主は二日の後に私たちを生き返らせ、三日目に立ち上がらせてくださる。私たちは御前に生きる。

6:3 私たちは知ろう。【主】を知ることを切に追い求めよう。主は暁のように確かに現れ、大雨のように私たちのところに來られる。地を潤す、後の雨のように。」

6:4 「エフライムよ、わたしはあなたに何をしようか。ユダよ、わたしはあなたに何をしようか。あなたがたの真実の愛は朝もやのよう、朝早く消え去る露のようだ。

6:5 それゆえ、わたしは預言者たちによって彼らを切り倒し、わたしの口のことばで彼らを殺す。あなたへのさばきが、光のように出て行く。

6:6 わたしが喜びとするのは真実の愛。いけにえではない。全焼のささげ物よりむしろ、神を知ることである。

6:7 ところが、彼らはアダムのように契約を破り、そこでわたしを裏切った。

6:8 ギルアデは不法を行う者の町、血の足跡に満ちている。

6:9 盗賊が人を待ち伏せするように、祭司たちは徒党を組み、シエケムへの道で人を殺す。彼らは実に淫らなことを行う。

6:10 イスラエルの家にはわたしはおぞましいことを見た。エフライムはそこで姦淫をし、イスラエルは汚れてしまった。

6:11 ユダよ、あなたにも刈り入れが定まっている。わたしが、わたしの民を元どおりにす

「さあ、主に立ち返ろう。主は私たちを引き裂いたが、また、癒やし、私たちを打ったが、包んでくださるからだ。

6:2 主は二日の後、私たちを生き返らせ、三日目に立ち上がらせてくださる。私たちは、御前に生きる。

6:3 私たちは、知ろう。主を知ることを切に追い求めよう。主は暁のように、確かに現われ、大雨のように私たちのところに來られる。地を潤す、後の雨のように。」

以上は信仰のことばのようですが、「あなたがたの真実の愛は朝もやのよう、朝早く消え去る露のようだ。」と主は言われます。そこに悔い改めがないからです。（これを肯定的な信仰のことばに解釈するものもありますが、4節との整合性を考える必要があります）

人生の回復や祝福をいただきたいなら、主のみにより頼むことです。しかし主は召使ではありません。主のみどころにかなわないままで、主に動けというのは、全く傲慢な姿です。

私たちはそれまでの不信仰や、不従順を悔い改めて、その上で主にお願ひすることです。主はそのため、試練を与えたもうこともあるのです。自分勝手な信仰の思い込みから、神様を主とした信仰にシフトしていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



9日 水曜

ホセア



7:1 「わたしがイスラエルを癒やすとき、エフライムの咎、サマリアの悪はあらわになる。彼らが偽りを行い、盗人が押し入り、外では略奪隊が襲うからだ。
7:2 しかし、彼らは考えもしない。わたしが彼らのすべての悪を覚えておくことを。今、彼らの悪行は彼らを取り囲んで、わたしの面前にある。
7:3 彼らは悪事によって王を、偽りによって首長たちを喜ばせる。
7:4 彼らはみな姦通する者。パンを焼くときの燃えるかまどのようだ。生地がこねられてから、ふくらむまでは、燃え立つことをやめている。
7:5 われわれの王の日に、首長たちは酒の熱で気分が悪くなり、王は嘲る者たちと手を握る。
7:6 彼らは心をかまどのようにして、陰謀を企てる。夜通し、パンを焼く者は眠るが、朝になると、かまどは燃え立つ火のように燃えるのだ。
7:7 彼らはみな、かまどのように熱くなって、自分をさばく者たちを食い尽くす。自分の王たちもみな倒れる。彼らのうちだれ一人、わたしを呼び求める者はいない。
7:8 エフライムは、もろもろの民の中に混じり込む。エフライムは、片面しか焼けていないパンだ。
7:9 他国人が彼の力を食い尽くしても、彼はそれに気づかない。白髪が生えても、彼はそれに気づかない。
7:10 イスラエルの高慢はその顔に表れている。彼らは、自分たちの神、【主】に立ち返らず、

このすべてがあっても、主を尋ね求めない。
7:11 エフライムは愚かな鳩のようで、良識がない。エジプトを呼び求め、アッシリアに飛んで行く。
7:12 彼らが赴くとき、わたしは彼らの上に網を張り、空の鳥のように彼らを引き降ろす。彼らの群れの音を聞くと、わたしは彼らを懲らしめる。
7:13 わざわいだ、彼らは。わたしから離れ去ったのだから。彼らは、踏みにじられるがよい。わたしに背いたのだから。わたしが贖い出そうとしているのに、彼らはわたしに向かってまやかしを言う。
7:14 心からわたしに向かって叫ばずに、自分たちの床の上で泣きわめいている。穀物と新しいぶどう酒のためには群がって来る。しかし、わたしからは離れて行く。
7:15 わたしが訓戒し、彼らの腕を強くしたのに、このわたしに対して悪事を企む。
7:16 彼らはいと高き方に立ち返らない。彼らは欺きの弓のようだ。彼らの首長たちは、ののしったために剣に倒れる。これはエジプトの地で、嘲りのもととなる。」

イスラエルの民がいかに主から離れてしまったかを述べています。「彼らは…王を喜ばせ」とあります。その興味関心は神ではなく、人間にあります。その場合は有力者に心が向いてしまいます。

「心からわたしに向かって叫ばずに、自分たちの床の上で泣きわめいている。」とあります。これは神様から離れた人の希望のない姿です。神様から離れた結果がその苦しみであるなら、せめて主に向いて助けを求めれば良いのですが、それさえ忘れてしまった姿です。

そうならないように、今から自分の思いを主に

向けていきましょう。完全な者であることを、主は求めてはられません。主に向いた心、主を慕う思い、主に頼ることから始まるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



10日 木曜

ホセア

- 8:1 「あなたの口に角笛を当てよ。鷺のようなものが、【主】の宮の上にいる。彼らがわたしの契約を破り、わたしのおしえに背いたからだ。
- 8:2 彼らはわたしに向かって叫ぶ。『わが神よ、私たちイスラエルは、あなたを知っています』と。
- 8:3 イスラエルは善を退けた。敵は彼らに追い迫る。
- 8:4 彼らは王を立てたが、わたしによってではない。首長を立てたが、わたしは知らない。彼らは自分の銀や金で自分のために偶像を造った。ただ断ち切られるために。
- 8:5 サマリアよ、あなたの子牛は退けられる。わたしは彼らに向かって怒りを燃やす。いつになれば、彼らは罪のない者となれるのか。
- 8:6 それはイスラエルから出たもの。それは職人が造ったもので、神ではない。サマリアの子牛は粉々に碎かれる。
- 8:7 彼らは風を蒔いて、つむじ風を刈り取る。麦には穂が出ないので、麦粉を作れない。作れたとしても、他国人がこれを食い尽くす。
- 8:8 イスラエルは^みみ込まれた。今や、彼らは国々の間にあって、だれにも喜ばれない器のようになった。
- 8:9 彼らは、ひとりぼっちの野ろばで、アッシリアへ上って行った。エフライムは愛を求めて贈り物をした。
- 8:10 彼らが諸国の民に物を贈っても、今、わたしはそれらを集める。彼らは、王や首長への貢ぎによって間もなく汚されることになる。
- 8:11 エフライムは祭壇を増やして罪を犯すようになった。それらは彼にとって罪を犯すた



めの祭壇となった。

8:12 わたしが彼のために、多くのおしえを書いても、彼らはこれを他国人のもののように見なす。

8:13 わたしへのささげ物のいけにえとして彼らが肉を献げて食べたとしても、【主】はこれを喜ばない。今、主は彼らの不義を覚え、その罪を罰する。彼らはエジプトに帰る。

8:14 イスラエルは自分の造り主を忘れ、神殿をいくつも建てた。ユダは、城壁のある町々を増し加えた。しかし、わたしはその町々に火を放つ。火はその宮殿を焼き尽くす。」

イスラエルが神様から離れた状態が指摘されています。王は国のためになるようですが、しかし神様によるものでないなら、それは不信仰です。教会においてもそれは同じです。

サマリアの子牛は偶像です。クリスチャンが偶像を隠し持っていることは、有り得ないことです。諸国の間で自己防衛のために、策を講じてもそれが主を頼るものでないなら、国々を神としているようなものです。クリスチャンが人を頼って失敗するのも同じです。

神殿で信仰的なことをしているようでも、以上のような状態であるなら、その神殿は焼き尽くされてしまうのです。私たちは信仰の生き方をもって、神殿すなわち教会で礼拝をしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



11日 金曜

ホセア



9:1 イスラエルよ、喜ぶな。諸国の民のように楽しむな。あなたは自分の神に背いて姦淫したからだ。あなたはすべての麦打ち場で姦淫の報酬を愛した。
9:2 打ち場も踏み場も彼らを養わない。新しいぶどう酒も彼らを裏切る。
9:3 彼らは【主】の地に住むことはない。エフライムはエジプトに帰り、また、アッシリアで汚れた物を食べる。
9:4 彼らは【主】にぶどう酒を注がず、自分たちのいけにえで主を喜ばせない。彼らのパンは喪中のパンのようで、これを食べる者はみな身を汚す。彼らのパンは自分のためだけ。【主】の宮に持ち込むことはできない。
9:5 例祭の日、【主】の祭りの日に、あなたがたは何をするのか。
9:6 見よ。彼らが破壊を逃れても、エジプトが彼らを集め、メンフィスが彼らを葬る。彼らが慕う銀には、いらくさが、彼らの天幕には、あざみがはびこる。
9:7 刑罰の日が来た。報復の日が来た。イスラエルに知らせよ。預言者は愚か者、霊の人は気のふれた者だ。これは、あなたの大きな不義のゆえ、激しい敵意のゆえである。
9:8 エフライムの見張りは、私の神とともにいる。しかし預言者には、すべての道に罠が仕掛けられ、彼の神の家には憎しみがある。
9:9 彼らはギブアの日のように、心底まで墮落した。主は彼らの咎を心に留め、その罪を罰する。

ここで姦淫とは、神様以外のものを神のように頼り従うことです。それゆえ神の守りはなくなり、イスラエルは苦難の日々を過ごすことになるのです。

それは私たちも同じです。

刑罰の日が来ても、イスラエルは悔い改めることをしませんでした。神様から離れた心もまた、苦難の日ひ神様を求めることに思いが及ばず、目先の解決を図ろうとします。苦難の日に主に立ち返りましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



12日 土曜

ホセア



9:10 「わたしはイスラエルを、荒野のぶどうのように見出し、あなたがたの先祖を、いちじくの木の初なりの実のように見ていた。バアル・ペオルにやって来たとき、彼らは恥ずべきものに身を委ね、自分たちが愛しているものと同じように、彼ら自身も忌まわしいものとなった。

9:11 エフライム。その栄光は鳥のように飛び去り、産むことも、身ごもることも、宿すこともない。

9:12 たとえ彼らが子どもを育てても、わたしは彼らに子を失わせ、人がいなくなるようにする。わたしが彼らを離れるとき、まことに、彼らにわざわいが来る。

9:13 エフライムは、わたしが見たところ、牧場に植えられたツロのようであった。しかし今や、エフライムはその子らを屠り場に連れ出さなければならない。」

9:14 【主】よ、彼らに与えてください。あなたは何をお与えになりますか。彼らに与えてください。死産の胎を、涸れた乳房を。

9:15 「彼らのすべての悪はギルガルにある。わたしはそこで彼らを憎んだのだ。彼らの悪い行いのゆえに、わたしは彼らをわたしの宮から追い出し、もはや彼らを愛さない。その首長たちはみな頑迷な者だ。

9:16 エフライムは打たれ、その根は枯れて、実も結ばない。たとえ子を産んでも、わたしはその胎の実である、いとし子を殺す。」

9:17 私の神は彼らを退ける。彼らが神に聞き従わなかったからだ。彼らは国々の間で、さすらい人となる。

はイスラエルをそのように大切にしました。それは私たちも同じです。しかしイスラエルは偶像に従い、恥ずべきものに身をゆだねてしまいました。

私たちも主にとっては高価で尊い存在です。主に愛され、楽しみに育てられたものです。しかしイスラエルのように、主をないがしろにするなら、祝福は「飛び去」ってしまいます。

ここには家族や子孫の崩壊が警告されています。それは私たちも同じです。主の祝福はまず家族にあるのですから、その祝福のためにも主に従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



▶ 13日 日曜

ホセア



10:1 イスラエルは生い茂るぶどうの木。それは多くの実をつけた。実が増えるにしたがって祭壇の数を増やし、その地が豊かになるにしたがって石の柱を豊かにした。

10:2 彼らの心は偽りだ。今、彼らはその罰を受ける。主が彼らの祭壇を壊し、彼らの石の柱を踏みこまれる。

10:3 今、彼らは言う。「私たちに王はいない。私たちが【主】を恐れていないからだ。王がいても、私たちに何ができるだろうか。」

10:4 彼らは無駄口をきき、むなしい誓いを立てて契約を結ぶ。さばきは、畑の敵の毒草のように生い出る。

10:5 サマリアの住民は、ベテ・アベンの子牛のことでおののく。その民はそのことで喪に服し、偶像に仕える祭司たち、その栄光を喜んでいた者たちも喪に服す。栄光が子牛から去ったからだ。

10:6 それはアッシリアに持ち去られ、大王への贈り物となる。エフライムは恥を受け、イスラエルは自分のはかりごとで恥を見る。

10:7 サマリアは滅び失せ、その王は水の面の木片のようだ。

10:8 イスラエルの罪であるアベンの高き所は滅ぼし尽くされる。茨とあざみが彼らの祭壇の上に生い茂る。彼らは山々に向かって「私たちをおおえ」と言い、丘に向かって「私たちに崩れ落ちよ」と言う。

10:9 「イスラエルよ。ギブアの日以来、あなたは罪を犯してきた。そこで彼らは同じことを行っている。ギブアで、戦いがこの不法の民を襲わないだろうか。」

10:10 彼らを懲らしめることがわたしの願い

だ。二つの不義のために彼らが捕らえられるとき、諸国の民が集められて彼らに敵対する。

10:11 エフライムは飼いならされた雌の子牛、麦打ち場で踏むことを好む。しかし、わたしはその美しい首にくびきを掛ける。わたしがエフライムに乗り、ユダが耕し、ヤコブが馬ぐわを引くようになる。

10:12 あなたがたは正義の種を蒔き、誠実の実を刈り入れ、耕地を開拓せよ。今が

【主】を求める時だ。ついに主は来て、正義の雨をあなたがたの上に降らせる。」

10:13 あなたがたは悪を耕し、不正を刈り取り、偽りの実を食べた。それはあなたが自分の力に、自分の勇士の数に頼り頼んだからだ。

10:14 あなたの民の中で戦塵が起こり、要塞はみな打ち滅ぼされる。戦いの日にシャルマンがベテ・アルベルを踏みこじったように、母親は子どもたちのそばで八つ裂きにされる。

10:15 ベテルよ。あなたがたの悪があまりにもひどいので、このようなことがあなたがたになされる。夜明けには、イスラエルの王は全く滅ぼされる。

信仰者が神以外のものを偶像にしているのなら、「心は偽りだ」と言われます。主を信じているとしながら、「自分のはかりごと」で、主をないがしろにするのですが、そのために「恥を見る」とあります。

「荒地を開拓せよ」とあります。荒地のような状態でも、そこから信仰の行いを始めることができるのです。主から離れてしまった部分に気づいたなら、開拓のように何をを始めましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

